



mIRa! 通信



～輝く「未来」の中に「伊里」はある～

ICT 推進授業&初任者研修ダブルで開催!



14日、今年度新採用の森直裕先生、光畑知慧先生の研究授業が行われました。備前市の「ICT 推進授業」および「備前市初任者研修」を兼ねて行いました。

ICTの方は、先進校である鳥取県岩美町立岩美中学校から岩崎先生をお招きし、初任者研修の方は、備前市教委から岡部参事、瀧口主任をお招きして指導していただきました。

森先生は道徳を、光畑先生が社会の授業を行いました。それぞれが事前に準備をしっかり行い、様々な工夫を加えて授業実践しました。これでまた「経験値」が増えましたね。

それぞれの先生から、多くの示唆をいただきましたが、特にタブレットの使用に関してはいろいろと勉強になりました。

岩崎先生の「タブレットは、汎用性が高いだけに、逆に使いこなしにくい側面もあります。早く伊里中スタイルを確立してください。」とのアドバイスが印象に残っています。

せっかくのプラス面を、「わからない」とか「面倒だ」などの理由で、マイナス面にしてしまっは「もったいない」極みですね。「プラスの二乗」になるくらいの「伊里中スタイル」を創り上げたいですね。

「学力向上」と言われますが、本当に「生きて働く学力」を身につけてもらうために、先生たちも頑張っています。一緒に目標高く頑張っていきましょう!



道徳でも電子黒板が大活躍!



グループで考えの交流を行います。



電子黒板で視覚に訴えて説明します。



みんなの意見をタブレットでまとめます。



グループの意見を、一斉に提示できます。



先生のタブレットでも各班の意見がわかります。



ズラリ並んだ先生方。緊張するなっるのが無理。



研究協議で、岩崎先生のお話を聴きます。



情報モラルサイトへGO!!



電腦商店街ツアー

オンラインショッピングの発展を促して、不要な買物の見分け方を学び、安心して利用できるように。電腦商店街ツアーでは、それぞれの商店の特徴を説明しています。事後を会場でもご説明させていただきます。



テーマ別のキーワードからさがす

キーワードをよんでください

No.	画像例	タイトル	学習目的
1		Webサイトの誘惑を活用しよう	危険サイトの危険や類似できる情報の探し方を知る。
2		こんなWebサイトに気をつけて	人が得する情報やサービスが学際に入学で必要なその気配がある事を知り、正しく活用を知る。
3		危険な商品に注意	インターネットのWebページには有害な情報が含まれていることを知り、そのような情報に出会った際の正しい対応法を知る。

ある日、養護の小田先生が、「出張に行つてイイもの見つけてきましたあ〜！」と、鬼の首を捕ったように報告してきました。

それは何かと言うと、「ネット依存」についての研修で、個人で「情報モラル」

を学ぶためのサイトを紹介されたそうで、それが「とっても役に立ちそう」なので、ぜひみんなに啓発を！とのことなのでした。

さっそく校長先生がホームページにリンクを張ってくださいました。「新着情報」及び「メディアスリムのページから、次の2つのサイトに飛ぶことができます。

- ①「ネット社会の歩き方」 日本教育情報化振興会
- ②「情報化社会の新たな問題を考えるための手引書」 文部科学省



①では、アニメで説明があったり、ゲーム形式で取り組んだり、楽しみながら学べるようになっているようです。

先日の保健委員会のメディアアンケートからも、本校生徒の多くが、「少なくともネット中毒？あと一歩で依存症」になるのでは？という恐ろしい予想がされる結果が出ています。

ちょっと覗いてみてごらん？みんなでお遊戯はしてませんが、お勉強しましょう（苦笑）。



3年生がハンセン病の勉強へ



15日、3年生が今年も、長島愛生園に「ハンセン病」の学習に行きました。写真は出発前の集合時の様子です。

差別と偏見に苦しんできた人々の声を聞き、不幸なことではあるけれど歴史の事実と、それに対する闘いの跡をしっかりと学んで、自分なりの考えを持ち帰って欲しいと思います。近くに長島愛生園があるという理由からだけでなく、我々が知っておかねばならない大切なことの一つだと思えます。また考えを深めてくれたものと信じています。



スーパームーンだったようですが...



14日は「スーパームーン」でした。「セーラームーンスーパー」じゃないですよ（苦笑）。しかし、この雨模様で見ることはかないませんでした、残念！！

68年ぶりに3万キロメートルほど接近し、とてつもなく大きく見えるそうでした。北海道や沖縄では見られたようですが、我々はテレビのニュースで見るとのみでした（哀）。まあ3万キロ近いって数字で言われても全くピンときませんけどね（苦笑）。特に数字が苦手な私にとっては全くチャンクンカンクンな距離感です。

時おり、自然は壮大なショーを見せてくれます。我々の常識など遠く及ばないスケールのもものありますね。地震などの被害を伴うものは困りますが、壮大な自然の絵巻物は、いろいろ見せてほしいものです。